

# 砂浜侵食海岸における堤防等に係る全国調査と緊急対策について

## 課題と背景

近年、下新川海岸をはじめ、前面の砂浜が著しく侵食した海岸において、堤防基礎からの吸い出し等による堤防・護岸の陥没、倒壊等の災害が頻発。前面に砂浜があるという前提で設計・施工された堤防等は、波浪が直接堤防に來襲することを想定しておらず、放置しておくこと倒壊等のおそれ。気候変化にともなう海面水位の上昇や台風の激化などにより、倒壊の危険性や被害のポテンシャルが増大。

## 全国調査と緊急対策の内容

堤防の設置後に前面の砂浜が著しく侵食され、倒壊等のおそれがある海岸堤防・護岸について全国的な調査を実施。前面に消波工がなく基礎が露出している直立堤のある海岸など堤防の倒壊等のおそれが高いと考えられる海岸を、全国で25海岸、約8km抽出。

これらの海岸について、今後5年間を目途に、堤防基礎の根継ぎ、地盤改良など緊急的に必要な対策を実施。

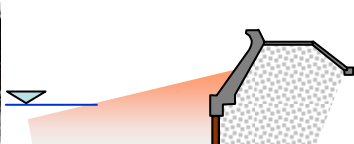
### 前面の砂浜が侵食により消失した海岸

下新川海岸(八幡～横山地先)

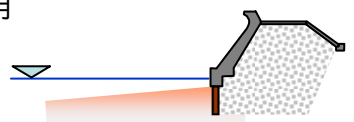
昭和36年(1961)



イメージ図



平成20年(2008)5月



### 海岸堤防等の倒壊



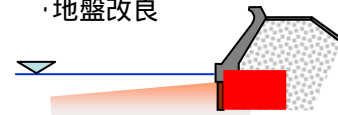
下新川海岸



石川海岸

### 対策工(案)のイメージ

・地盤改良



・基礎の根継ぎ等

